

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 早期復興に向けて	先般、第二回目の個別面談の結果が発表された
	が、自立再建希望者が減り、町外移転者が増加して
	いる事に対し危機感をもった。人口減少を止める為
	にもスピード感のある的確な施策の展開が必要です
	が、次の点について伺います。
	(1) 東日本大震災で住居を失った被災者は、所得
	等に関係なくすべて災害公営住宅に入居できま
	すか。
	最終年度はいつですか。
	(2) 人口定着を図るためにも、自立再建者を増や
2 商店街の形成について	すべきです。その為に尚一層、正確な情報を被
	災者に提供することが肝要と考えるが。
	(3) 災害公営住宅、自立再建の希望の場所、数量
	と供給予定地、量に大きな差異があります。見
	直しはありますか。
	(質問の相手：町長・担当課長)
2 商店街の形成について	平成 27 年 3 月に J R 女川駅の開業を目指してい
	ます。新しい女川の中心であり大事な顔であります
	が、次の点について伺います。
	(1) 既存の仮設商店街（きぼうのかね、コンテナ

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 要援護者の避難計画は	村等) はいつまで営業できますか。
	(2) 27 年に合わせて、どの位の商店街が形成される予定ですか。
	(3) 仮設商店街の建物の所有権はどこのものでしょうか。
	(質問の相手：町長・担当課長)
	東日本大震災は、身体の不自由なお年寄りや障 ^{しょうがい} 碍者が多く亡くなった。同時に災害弱者を救おうとして行政区長や民生委員、消防団員等が殉職した。この厳しく悲しい現実を踏まえながら、今後に生かさなければならない。
	そこで次の点について伺います。
	(1) 弱者を救う事と、自らの身の安全の一線をどのように考えますか。
	(2) 国は 2005 年にガイドラインを策定し、市町村に対し要援護者の避難計画をつくることを求めているが、本町はどのように取り組んでいますか。
	(質問の相手：町長・担当課長)